

# 全国学力・学習状況調査について

## 1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

令和5年4月18日（火）

## 3. 調査の対象

泉佐野市立日根野中学校 第3学年、全生徒

実施生徒数（ 162 人）

## 4. 調査の内容

### （1）児童生徒に対する調査

#### ア 教科に関する調査

- （ア）小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。
- （イ）出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
  - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- （ウ）調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

#### イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下、児童を対象とする場合は「児童質問紙調査」、生徒を対象とする場合は「生徒質問紙調査」、児童及び生徒を対象とする場合は「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

### （2）学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

### 1. 全体の傾向

- ・全国正答率との差はそれほど大きくないが、文章から要点を読み取ることが苦手である。一方で、自分の考えを文章で表現する力はある。

平均正答率（本校 69 / 泉佐野市 63 / 大阪府 68 / 全国 69.8）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
	【思考・判断・表現】
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する。 (54.9/63.0)
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する。 (67.9/74.2)
3四	『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く。 (82.7/72.1)

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	48.8	61.4	○	12.6
国語の勉強は大切だと思いますか	92.7	92.4		0.3
国語の授業の内容はよく分かりますか	81.1	80.0		1.1
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.8	88.7		2.1

○授業の中でも「書く」活動をたくさん行ってきたため、自分の意見や考えを文章で述べる力は身に着いている。

○短時間でしっかりと文章の内容を読み取るということが苦手な傾向が見られるので、授業の中でも文章を読み取る活動を繰り返し取り入れていきたい。

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

### 1. 全体の傾向

- ・「数と式」「図形」「関数」では全国平均正答率を上回っているが、「データの活用」は6ポイント下回っており苦手な傾向にある。

平均正答率（本校 51 / 泉佐野市 44 / 大阪府 50 / 全国 51.0）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問	
<p><b>【数と式】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然数の意味を理解しているかどうかをみる (58.0/46.1)</li> </ul> <p><b>【図形】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる (37.7/30.4)</li> <li>・条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる (32.7/37.0)</li> </ul> <p><b>【関数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる (61.7/57.5)</li> <li>・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる (38.3/42.8)</li> </ul>	<p><b>【データの活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・累積度数の意味を理解しているかどうかをみる (40.1/46.1)</li> <li>・四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる (59.3/65.7)</li> <li>・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる (27.8/33.6)</li> </ul>	

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	57.3	56.7		0.6
数学の勉強は大切だと思いますか	86.0	85.0		1.0
数学の授業の内容はよく分かりますか	83.6	73.3	○	10.3
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	77.5	75.8		1.7
解答時間は十分でしたか（数学）	80.4	75.0	◇	5.4

○授業で取り扱っている内容などが、生徒のニーズに合っているため、全ての質問項目で、全国の割合より高くなっている。

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（英語）

### 1. 全体の傾向

・「読むこと」「書くこと」では8割以上の問題が全国平均正答率を上回っている。それに比べて、「聞くこと」は上回っている問題が少ない。

平均正答率（本校 52 / 泉佐野市 43 / 大阪府 45 / 全国 45.6）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

英語	特徴がみられた設問
<p><b>【聞くこと】</b>                      ・情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる(88.9/79.0)</p> <p>・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる(54.9/41.2)</p> <p><b>【読むこと】</b>                      ・情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる(65.4/56.0)</p> <p>・「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる(78.4/64.5)</p> <p>・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる(44.4/35.9)</p>	<p>・文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる(63.6/59.8)</p> <p><b>【書くこと】</b>                      ・未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる(53.1/40.4)</p> <p>・疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる(38.9/20.9)</p> <p>・「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる(40.7/29.0)</p> <p>・日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる(13.0/7.4)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
英語の勉強は好きですか。	54.9	51.9		3.0
英語の勉強は大切だと思いますか。	92.1	88.0		4.1
英語の授業の内容はよく分かりますか。	73.8	63.9	◇	9.9
英語の授業で学習したことは、将来、役に立つと思いますか。	91.4	87.5		3.9
将来、積極的に英語を使うような生活をしたリ職業に就いたりしたいと思いますか。	42.1	36.7	◇	5.4

○大阪府で行われるチャレンジテストに向けた対策も授業内で行っており、その試験と似た形式の問題が出題されているため、全体的に全国の正答率より高くなっている。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【自分自身について】	○将来に夢や希望を持っているは、全国を上回っている。 <u>昨年度より、16ポイント上昇した。</u>	○将来の夢や目標を持っていますか < 75.2 / 66.3 >
【家庭学習の様子】	○家で自分で計画を立てて勉強をしている割合は、全国を下回っている。  ○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり全く勉強をしない割合は、全国を上回っている。	○家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む） < 51.8 / 55 >  ○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 全くしない < 17.7 / 12.5 >
【学校での学習の様子】	○総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいた割合は、全国を上回っている。 <u>昨年度より、19.1ポイント上昇した。</u>  ○授業で、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた割合は、全国を上回っている。  ○道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる割合は、全国を上回っている。 <u>昨年度より、27.7ポイント上昇した。</u>	○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか < 79.9 / 72.6 >  ○1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか < 81.1 / 69.1 >  ○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか < 92.7 / 86.3 >

## 本校の取組

### ◎これまでの取組

**研究主題**「生きる力を育てる！～生徒も教師もワクワクする授業を目指して～」

総合的な学習を軸に、生徒の資質能力の教科横断的な育成を目指した。

- ①「総合的な学習の時間3カ年計画」を作成し、育成したい力を明確にし、見通しをもった総合的な学習の授業を実施。
- ②表現力や発信力、コミュニケーション力など、生徒の資質能力の育成場面を学年会などで確認し、各教科の授業にも活かす。
- ③Chromebook を活用した発信や、校内掲示などを積極的に活用し、生徒の成果物の「見える化」をすすめ、自信をもって学習に向かう姿勢を育成する。

### **学びの環境づくり**

・毎日の清掃活動で学校の衛生環境を整え、自己の心身の安定や自己有用感の向上を目指した。

### **授業力の向上**

・校内研修や教科会を充実させ、教師間の連携を深めた。

### **地域との協働を通して、社会に開かれた教育の実現**

- ・地域学習フィールドワークでは、地域の担い手となっている様々な人と出会い、より良い地域づくりに貢献できるような活動に取り組んだ。
- ・修学旅行では、沖縄を訪れ、現地の方々との交流することで、平和学習で学んだことをより深めた。

### **ICTを活用した情報活用能力の育成**

・学習活動において ICT 機器を効果的に活用し、「情報の収集・整理・分析・表現・発信」等を行うことができる力の育成を目指す取り組みを実施した。

### ◎これからの取組

**研究主題**「生きる力を育てる！～生徒も教師もワクワクする授業を目指して～」

総合的な学習を軸に、生徒の資質能力の教科横断的な育成を継続して目指していく。

- ①「総合的な学習の時間3カ年計画」を生徒の実態や教師の得意に応じてアレンジし、こだわりをもった総合的な学習の授業を実施する。
- ②表現力や発信力、コミュニケーション力など、生徒の資質能力の育成場面を学年会などで確認し、各教科の授業にも活かす。
- ③Chromebook を活用した発信や、校内掲示などを積極的に活用し、生徒の成果物の「見える化」をすすめ、自信をもって学習に向かう姿勢を育成する。

### **学びの環境づくり**

・毎日の清掃活動で学校の衛生環境を整え、自己の心身の安定や自己有用感の向上を目指す。

### **授業力の向上**

- ・校内研修や教科会をさらに充実させ、教師間の連携を深める。
- ・外部講師を積極的に活用し、先進的な実践を目指す。

### **地域との協働を通して、社会に開かれた教育の実現**

・地域学習では、学んだことを校内に留めることなく地域に発信し、生徒が主体となって具体的な行動としての地域貢献を目指す。

### **ICTを活用した情報活用能力の育成**

・学習活動において ICT 機器を効果的に活用し、「情報の収集・整理・分析・表現・発信」等を行うことができる力の育成を目指す取り組みを実施する。

### **集団づくり**

・「お互いの違いを認めあい、つながりあい、高めあう生徒集団」の形成を目指し、生徒個々の「生きる力」を学校と家庭、地域の強い連携のもと育てていく。